

2014年10月30日

各位

オリックス株式会社
(コード番号: 8591)

2015年3月期 第2四半期連結決算
当期純利益は前年同期比77%増の1,421億円、5期連続増益
～営業収益、当期純利益ともに過去最高額を更新～

2015年3月期第2四半期（2014年4月1日～2014年9月30日）の米国会計基準連結決算における営業収益は前年同期比55%増の9,452億円、税引前当期純利益は同66%増の2,030億円、当期純利益は同77%増の1,421億円と、第2四半期（累計）として5期連続で増益となりました。

なお、当期純利益は、通期の連結業績目標2,100億円に対して68%の進捗となり、第2四半期累計期間の営業収益および当期純利益としては、ともに過去最高額を更新しました。

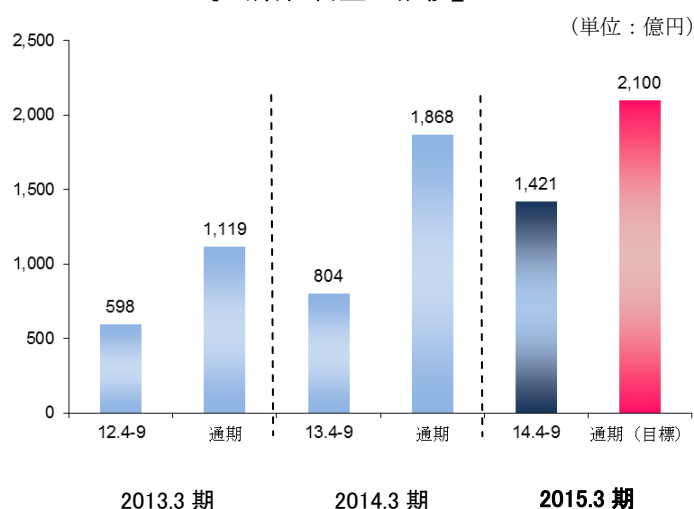
■ 主な経営指標の推移

	2013.4-9	2014.4-9	増減率
営業収益	6,091 億円	9,452 億円	55%
税引前当期純利益	1,221 億円	2,030 億円	66%
当期純利益 (※)	804 億円	1,421 億円	77%

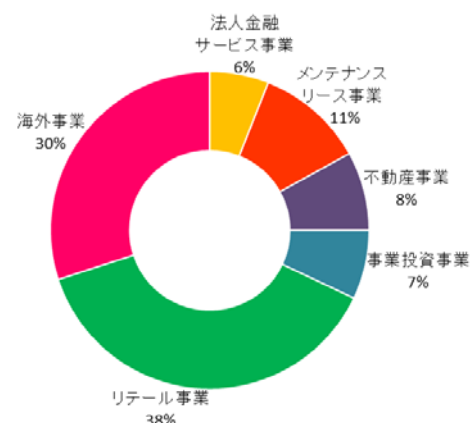
	2014.3	2014.9	増減率
総資産	90,694 億円	112,151 億円	24%
セグメント資産	72,814 億円	91,282 億円	25%
株主資本 (※)	19,187 億円	20,366 億円	6%
株主資本比率 (※)	21.2%	18.2%	—

(※) 「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表に記載している「当社株主に帰属する四半期当期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』



『当第2四半期のセグメント利益内訳』



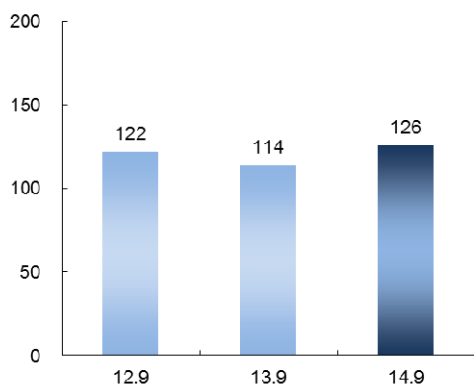
■ 各セグメントの業績概要（2014年4月1日～2014年9月30日）

当第2四半期累計期間では、「リテール事業部門」と「海外事業部門」が業績を大きく牽引しました。また、「不動産事業部門」も利益が大幅に増加し、「法人金融サービス事業部門」「メンテナンスリース事業部門」が堅調に推移しました。

【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、各種手数料ビジネス

<第2四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

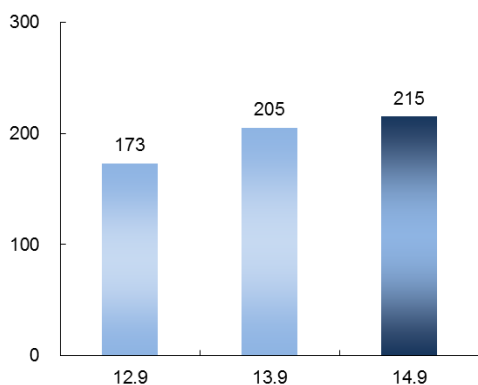


- 平均資産残高の増加により、ファイナンス・リース収益が堅調に推移。
- 太陽光パネルや生命保険などの販売手数料収益が順調に増加。
- セグメント利益は、前年同期比 10%増の 126 億円を計上。

【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタルおよびリース

<第2四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

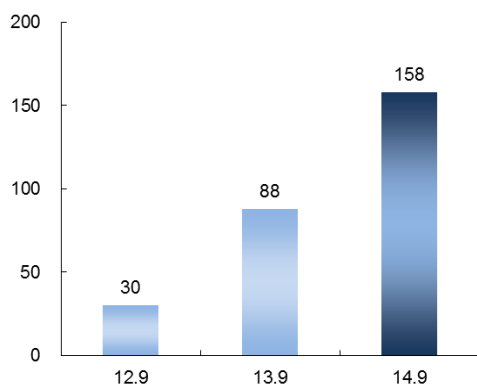


- 自動車の新規実行高が好調に推移し、リース収益が増加。
- 付加価値サービスの提供も寄与し、収益性は高水準で推移。
- セグメント利益は、前年同期比 5%増の 215 億円を計上。

【不動産事業部門】

不動産開発・賃貸・ファイナンス、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問

<第2四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

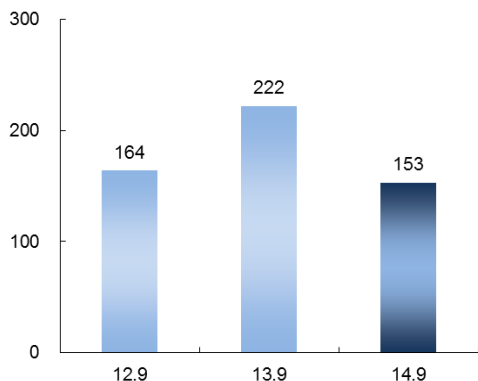


- 活発な不動産市況を背景に、賃貸不動産売却益が増加。
- 棚卸資産や長期性資産の評価損が減少。
- セグメント利益は、前年同期比 80%増の 158 億円を計上。

【事業投資事業部門】

環境エネルギー関連、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）

<第2四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

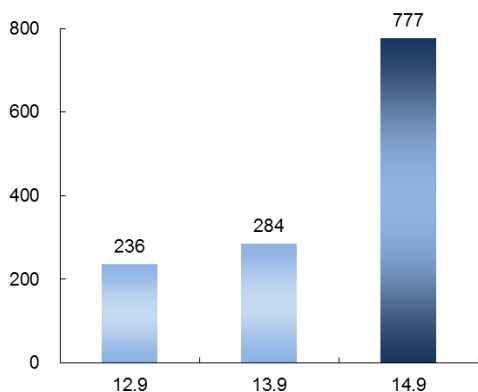


- PE投資先からの取込利益と環境エネルギー関連の事業利益が貢献。
- サービサー事業における回収益と大京の利益が減少。
- セグメント利益は、前年同期比 31%減の 153 億円を計上。

【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

<第2四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

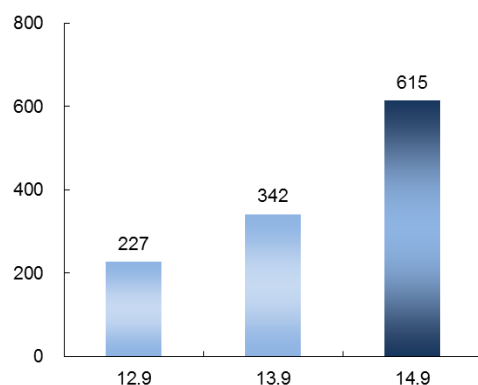


- ハートフォード生命保険の連結子会社化に伴う負ののれん発生益(バーゲン・パーチェス益)を計上。
- 銀行事業における貸付金収益や生命保険事業における保険収益が順調に増加。
- セグメント利益は、前年同期比 174%増の 777 億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、アセットマネジメント、船舶・航空機関連

<第2四半期累計セグメント利益>（単位：億円）



- ロベコのアセットマネジメント収益や米州の手数料収益が増加。
- 投資先の STX Energy（現：GS E&R Corp.）の株式売却益を計上。
- セグメント利益は、前年同期比 80%増の 615 億円を計上。

オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、引き続き中期的な経営戦略である“「金融＋サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進していきます。また、“既存ビジネスの成長と変革”を掲げ、既存の事業基盤の再構築と環境の変化に応じた新たな事業機会への挑戦を目指していきます。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
グループ広報部 堀井・中村 TEL : 03-3435-3167